

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	利用者がそれぞれより良く暮らしていくための課題を明確にする	課題の抽出・分析を行い、本人様・家族様の思いに寄り添ったケアを行う。	利用者、ご家族のの思いを聞き取り抽出した課題をカンファレンスにて話し合い、現状把握、問題の抽出、ケアプラン・介護計画の見直しを行う。職員がいつでも確認できるようケアプランはファイルにまとめる。	6ヶ月
2	36	利用者への声掛けや介助について職員の言動の見直し	情報交換を行い、声掛けや介助方法についてケアの統一を図る	定期的カンファレンスを行い、ケアの統一ができるようする。研修等で人権擁護・プライバシー保護について意識を統一し安心できる生活環境が保持できるようにしていく	6ヶ月
3	38	生活やレクリエーション活動等がマンネリ化してきている	利用者が楽しみをもって生活できるよう会議等で検討し提供していく。	家事参加や余暇活動は個々の状態に応じて援助していく。レクリエーションについては利用者の希望の聞き取りを行い、季節を感じてもらったり、身体機能が維持できるような活動になるよう検討し支援していく	6ヶ月
4	8	現在までに権利擁護に関する制度利用の事例はないが今後のために知識の習得が必要。	権利擁護について学ぶ機会を持つ	市町村の発行するリーフレットを中心に学ぶ機会を持ち、知識を得ていく。	12ヶ月
5	11	カンファレンスや勉強会で検討する機会を定期的に持ち意見や気づきを引き出しているが、繁栄されていない部分がある。	サービス向上に向け、職員に意見を引き出し運営に反映させていく	職員全員でサービス向上のため、話し合いを行う。	6ヶ月

6	13	研修や勉強会を継続して実施し、サービスの向上を図る必要がある。	現時点でのサービスに満足することなく向上心を持って研修や勉強会を実施し意識の向上を目指す。	職員の関心があることやその時の課題等から研修や勉強会を実施し、人材育成へとつなげていく	6ヶ月
7	1	実践状況の振り返りができていない。	目標達成に向け皆で取り組み、振り返り等にて次へつなげていく。	目標を職員で検討し、その目標に向け実践・振り返りを行うことで、スタッフの意識向上につなげていく。	12ヶ月
8	4	運営推進会議について、利用者の参加がなく意見を話す機会がない。	利用者が発言できる機会を持つ。	運営推進会議は現在はコロナ禍につき書面開催であるが会議再開後は利用者の確認を取って傘下に同意が得られれば会議に出席し発言できる機会を設けていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。